

第3種郵便物認可

暁峰、防災・防犯向け拡充

【さいたま】暁峰（埼玉県春日部市、小林翔社長、048・812・4321）は、防災・防犯関連製品の生産・販売を拡充する。得意とする発光ダイオード（LED）周りの技術を生かして、防災・防犯に役立つ照明機器や大型LEDディスプレイの新製品を相次ぎ発売する。大規模災害が続発する一方、凶悪犯罪が頻発していることから、防災・防犯関連製品のニーズがさらに高まると判断した。すでに警察への納入案件も出ており、実績をアピールし多方面へ売り込む。

LED照明・ディスプレイ

監視カメラや給電機能装備

暁峰では数年前に、ソーラーパネルと蓄電池、LEDライトを一体化して、停電時でも20時間点灯する照明機器「Sora de Light（ソラ・デライト）」を製品化している。昨今の防災・防犯意識の高まりを踏まえ、同機器をベースに、防犯カメラや、スマートフォンを充電できるUSB給電ポートを付けたシリーズ製品を企画し、順次発売していく。すでに、防犯カメラ付き照明機器を神奈川県警などへ納入している。

一方、電子看板としての需要を掘り起こし

ている大型LEDディスプレイでは、ディスプレイが透明で、窓にも設置できる新タイプなどを製品化する。併せて、大型ディスプレイが災害時の緊急連絡や情報提供にも使える点を訴求し、駅前や公園といった公共の空間、施設での導入を促していく。

同社はパソコンや液晶ディスプレイのリサイクル事業で約20年前に立ち上がった。ここへきてLED関連の事業が伸びていることから、年内にはLED部門を分社化し、同事業の一層の拡充を目指す。